

# 自給飼料作り体験記

岡山県小田郡美星町

浅草 福 (四十九歳)

私が酪農を始めて早くも十年の歳月が夢のように過ぎ去りました。酪農なら多頭飼育と一口に言われる昨今ですが、当時私はわが家の経営、面積、労働力、資本金、其の他の条件とニラミ合わせて、優秀なる登録牛で五頭(内搾乳牛三、育成牛二)程度の副業的酪農なら面白い酪農、楽しい酪農を営むことが出来るのではあるまいかと思いついたのです。

しかし、昔から少し物を多く食べると牛が食う程良く食べるとまで言われるくらいで、年間を通じると可成多量な粗飼料が必要なので、秋から春先頃までの粗飼料は稲藁に購入(濃厚)飼料が常食になりがちです。そこで何んとかして次の問題を解決しなければ我が家の酪農は成立しません。

- 一 稲藁を粗飼料の枠から外すこと
- 二 濃厚飼料はその枠を自給で補ない、残りの枠を購入すること

そこで先ず第一現在の採草地の改良に目をつけました。農閑期を利用して三〇㍏の原野を開墾し、石灰一〇〇キ、牛肥一、二〇〇キを投入、翌年三月六〇キの畦間

に一五キの浅溝を切り牧草の播種と一生懸命に働いたものです。ここで牧草の品種の選定ですが、牧草には数多くの品種があり

- 一 何日頃収穫出来るか
  - 二 収量はどうか
  - 三 土地に合うか
  - 四 牛の嗜好性はどうか
- 等といろいろの研究が必要です。

- 幸いにして私は二、三年前より各地の種苗会社より今まで聞いたことの無い、見たことも無い牧草の種子を試作しておりまして関係上その注文は楽に終わりましたが、ここで特に皆様に参考までに種子購入に当たり御注意願いたいこととしては、
- 一 価格の高官に依り購入先を定めぬこと
- 二 発芽率の極めて悪い種子を買わぬこと
- 三 品種名とその袋の中の現物の異ならぬもの

等私は長年いろいろな種苗会社と取引しましたが、その試験の結果として雪印が特に確実性に富み信用出来得ると信じ、今日に到るも牧草の種子だけは雪印以外の品は購

入致しておりません。今日では町の酪農組合、農協等が牧草の種子は全部雪印にしておりませす。

さて三〇㍏の内訳は

アラ	チ	ド	レ	ニ	アル	...	10
ラ	シ	+	+	赤	クロ	...	5
モ	ン	H	ワ	+	+	...	4
バ	+	+	+	ト	ダ	...	4
	ト	ル	オ	+	リス	...	4
	+	ズ	フ	マ	+	...	4
	ダ	ス	+	ウ	テ	...	4
	ル	サ	+	ン	ン	...	4
	ス	+	+	+	+	...	4
	ム	+	+	+	+	...	4
	ダ	+	+	+	+	...	3
	ラ	+	+	+	+	...	3

右の通り区分して四月中に播種、播肥は化成肥料四〇キ、播種の後笹ホーキにて土種子肥料を混合しました。播種量はカタログに記載通りです。補肥は尿素一袋、私の植方は条播なので冬の農閑期を利用して牛肥一、二〇〇キを入れ中耕一回は毎年必ず行なうし、この方法での栽培は草の寿命も長く作業も何かと便利です。

この牧野に陰樹として栗樹八株に一本、品種は農林一・二・三号の三品種で特等苗を植付けると翌春すでに実が付きますが、その実は付けない方が良いでしょう。牧草と粟との組合せは何れも結果は良いでしょう。

次の改良点は桑園に目を付けました。四〇㍏の桑園は畦間一・五尺、株間六〇キ、この畦間一通りを掘取、次の二通を残した次の一通を掘取するという方法で寄畦式桑園に改めました。掘取した通りの畦間は三

充実した桑葉が出来き蚕の成績も上々の出来が続きます。四〇㍏の桑園の中一五㍏を飼料圃に使用することが出来ます。

作付面積は

春作	秋作
馬鈴薯七㍏	飼料カブ 一〇㍏
(後作黒千石)	小麦(実取用) 五㍏
甘 諸七㍏	大麦(ク) 一〇㍏

次は普通畑二〇㍏の中飼料圃として使用するもの

春作	秋作
テオシント五㍏	デントコン一〇㍏(黒千石混植)(年三回播替可能ニテノベ面積三〇㍏)
下総カブ 一〇㍏	秋作
小麦(実取) 一〇㍏	
四〇㍏の水田の裏作状態	
イタリアン... 一〇㍏	
レンゲ... 一〇㍏	
エン麦... 一五㍏	

なを、三九年春桃園三〇㍏が出来上りました。八尺×四尺の間作も申し上げるまでも無く飼料圃として活用致したいと目下研究中で近々着手する筈です。

かくして林野を開放し、耕地にまた間作を利用して一にも草、二にも草と草を取り実を作ってサイロ三基四尺×一〇尺に詰込み産前産後仔子の育成用の乾草の確保に日夜研究を続け、乳価は上らなくとも楽しい酪農を営むべく努力を続けております。